



ザンビアの経済概況・月報(2017年6月)

主なマクロ経済指標	2016年	2017年
1. 人口 (百万人)	16.21 (2015)	-
2. 人口増加率 (%)	3.11 (2015)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,154(2015)	-
6. GDP成長率 (%)	2.9(est)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,490(2015)	-
8. インフレ率 (%)	18.2	6.8(June)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	183.66	195.82(June)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	325.0(est)	-140.10*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-22.90*4	41.73*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	7,036.0	3,153.82*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	24.13*4	63.40*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	6,710.0	3,293.93*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	47.03*4	21.68*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-283 (2015)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,653(2015)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,195(est)	2,430(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	8,785(2015)	-
21. 為替レート (対米ドル)	9.81ZMW (end-period)	9.25ZMW(Jun)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	12.5

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

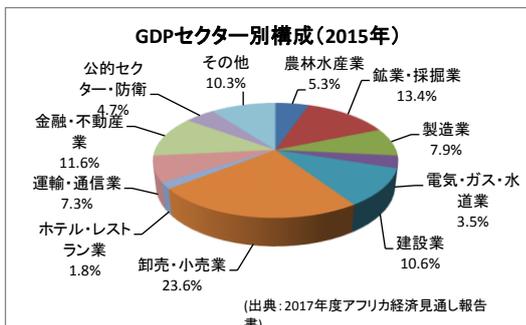
*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2017年1月から5月までの貿易額。1USD=9.60ZMW (2017年5月までのザンビア中央銀行為替相場月間平均)を用いて換算
*3 2017年1月から5月までの貿易額。1USD=113円 (2017年5月までの日銀基準外国為替相場月間平均)を用いて換算
<2017年5月>
主要輸出品目: 銅/金(半製品)/コバルト/発煙硫酸/メイズ
主要貿易相手国(輸出): スイス 45.1%, 中国 20.3%, コンゴ(民) 6.1%, シンガポール 5.8%, 南アフリカ 5.5%, その他 17.2%
主要輸入品目: 銅/発煙硫酸/軽油/金(半製品)/硫黄
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 31.1%, コンゴ(民) 14.2%, 中国 10.8%, クウェート 9.3%, インド 4.3%, その他 30.2%
*4 1USD=111円 (2016年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21(2016): Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21(2017), 22: Bank of Zambia

<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(6月)

1. “IMFミッション、ザンビア訪問を終了”(Times, 11日)

IMFは、2週間のザンビア訪問を終え、拡大クレジット・ファシリティ(ECF)のもとでプログラム支援への合意達成を目指す旨ザンビア政府と同意した。9日、チカタIMFミッション代表は、降雨量の増加や海外投資家による国債の取引増加などを背景に、短期的な経済見通しはこの数ヶ月間で改善している旨発言した。

2. “第7次国家開発計画(7NDP)が発表”(Times, 22日)

21日、ルング大統領は、第7次国家開発計画(7NDP: 2017年から2021年を対象)を発表した。同大統領は、農村部における貧困削減に対処する必要があるとして、ザンビア政府が国内のインフラ開発を促進させる旨発言した(2015年の統計では貧困率は76.6%、失業率は7.4%を記録)。同大統領は、7NDPが国家予算及びザンビア自前の経済回復プログラム『ザンビアプラス』と関連しており、7NDPによって全ての国民が恩恵を享受出来るような包括的な経済成長へと導かれる旨発言した。

3. “ザンビアの対外債務残高、72億米ドルに増加”(Daily Mail, 23日)

ムタティ財務大臣は、2017年5月末のザンビアの対外債務残高が2016年12月比3億米ドル増の72億米ドルに増加した旨発表した。また、同大臣は、2017年5月の国内債務残高が2016年12月比53億米ドル増の386億クワチャとなった旨発言した。同大臣は、債務持続性を維持すべく、ザンビア政府による中期債務戦略の策定が間もなく完了する旨発言した。

4. “ZRA歳入額、目標額を4.8億クワチャ上回る”(Daily Mail, 23日)

ザンビア歳入庁(ZRA)による2017年1月から5月までの歳入額が目標額を4.8億米ドル(目標額の3.3%に相当)を上回った。ンザラZRA上級広報担当官は、昨日発表のステートメントにて、当該期間に14億クワチャをZRAが徴収したと述べたうえで、ZRAが今年末までに、年間目標額である367億クワチャの歳入徴収という目標を達成出来ることを確信している旨発言した。

5. “予算策定に係る協議を開始”(Daily Nation, 26日)

カンデタ財務省広報担当官は、ザンビア政府が、2018年国家予算及び2018年-2020年中期支出枠組み策定に係る協議を今週開始する旨発言した。同広報担当官は、協議においては、昨週ルング大統領が発表した7NDPにおける主要分野に焦点が置かれていると指摘したうえで、農業や製造業、観光業、「包括的かつ持続性ある成長・投資・雇用創出促進」に向けた拠出などが主要分野に該当する旨発言した。

6. “ムタティ財務大臣「減債基金を見合わせ」”(Daily Nation, 29日)

ムタティ財務大臣は、ザンビアの貿易収支が昨今赤字であることを背景として、ザンビア政府が本年減債基金を運用しない旨発言した。2015年、ザンビア政府は、2016年の減債基金の設立に向けて3.8億クワチャ超を当初投資する旨発表した。

7. “ザンビアは農業関連の歳入を見直すべき”(Daily Mail, 30日)

29日、ルーセンバーク世銀ザンビア事務所代表は、2017年前期のザンビア経済見通し報告書(『Reaping ricier returns from public expenditures in agriculture』)発表式にて、ザンビアが農村部の生計改善に向けて銅依存から脱却した経済を促進させるには農業関連の歳入を見直すべきである旨発言した。また、同代表は、2017年のザンビア経済が、2015年及び2016年の難局から回復した旨発言した。